

熱帯果樹類の導入記録

永井親雄・高井敦雄・梶原芳信

熱帯・亜熱帯性植物を栽培・展示している大温室において、着果（開花）した熱帯果樹類を周年展示するため、2001～2005年まで導入した植物を記録する。なお、着果した果樹は順次、大温室で展示した。

表・熱帯果樹類の導入記録

科名	品種	学名	栽培形態	着果の有無	導入年	導入先
アカテツ	ミラクルフルーツ	<i>Synsepalum dulcificum</i>	鉢	有	02	ネットフルーツ他
アカテツ	スターアップル	<i>Chrysophyllum cainito</i>	鉢	無	02	エクゾチックプランツ
ウルシ	マンゴウ	<i>Mangifera indica</i> cv.	鉢	有	02	真屋農園
ウルシ	カシューナッツ	<i>Anacardium occidentale</i> cv.	実生・鉢	無	05	花みどり公園
キントラノオ	マンゴスチン	<i>Garcinia mangostana</i>	鉢	無	05	改良園
キントラノオ	タマゴノキ	<i>Garcinia xanthochymus</i>	鉢	無	05	エクゾチックプランツ
キントラノオ	アセロラ	<i>Malpighia glabra</i> cv.	鉢	有	02	エクゾチックプランツ
サボテン	ドラゴンフルーツ	<i>Hylocereus undatus</i>	鉢	有	04	真屋農園
サボテン	〃 イエロー系	<i>Hylocereus undatus</i>	実生・鉢	無	05	花みどり公園
センダン	ランサー	<i>Lansium domesticum</i>	鉢	無	02	エクゾチックプランツ
トウダイグサ	アメダマノキ	<i>Phyllanthus acidus</i>	鉢	無	02	エクゾチックプランツ
トケイソウ	オオミノトケイソウ	<i>Passiflora quadrangularis</i>	大温室・地植え	有	03	花みどり公園
ニクズク	ニクズク	<i>Myristica fragrans</i>	鉢	無	02	エクゾチックプランツ
パパイヤ	パパイヤ・F1紅妃	<i>Carica papaya</i> cv.	大温室・地植え	有	02	タキイ種苗
パパイヤ	パパイヤ・沖縄系A	<i>Carica papaya</i> cv.	大温室・地植え	有	02	/
パパイヤ	パパイヤ・沖縄系B	<i>Carica papaya</i> cv.	大温室・地植え	有	02	/
パパイヤ	ミニパパイヤ	<i>Carica mexicana</i>	実生・鉢	有	01	ベリーズ産
パンヤ	ドリアン	<i>Durio zibethinus</i>	実生・鉢	無	03	/
バンレイシ	チェリモヤ	<i>Annona cherimola</i> cv.	実生・鉢	無	05	/
フトモモ	ミズレンブ	<i>Syzygium aqueum</i>	鉢	有	02	真屋農園
フトモモ	ジャボチカバ・四季咲系	<i>Myrciaria cauliflora</i>	鉢	有	02	エクゾチックプランツ
ミカン	ホワイチサボテ	<i>Casimiroa edulis</i> cv.	鉢	有	04	山陽農園
ミカン	グレープフルーツ	<i>Citrus ×paradisi</i> cv.	鉢	有	04	山陽農園
ムクロジ	ライチ	<i>Litchi chinensis</i> cv.	鉢	無	02	タキイ種苗

平成17年カスケードコンテナ及び周辺花壇装飾について

磯部実・梶川修・高東朗・門村逸喜

はじめに

カスケード、ゲート前、ログハウス周辺には、現在大小69個の大型コンテナと30箇所の小花壇及び13個の立体花壇（グローバルなど）、20～50個の角型・丸型プランター、約20個のハンギングバスケット等で季節の草花等を常時展示装飾している。

カスケード周辺全体を一年中花で覆われるように装飾するように努め、季節や流行を代表する植物や、ガーデニングの話題提供となるように新品種の導入植栽をはかり、適宜植物名ラベル（白色7×4cmT型ラベルにブラザーPタッチテープを貼付）を付けた。アカンタスやクリスマスローズなど特徴的な植物には随時解説をつけ、ハーブ類は入園者が触って楽しめるような表示を行った。



写真1. 新しく造成したイングリッシュガーデン

本年はログハウス南側の区域に、春クスノキを除去し、イングリッシュガーデンを造成・新設し、イングリッシュローズや花木類、ハーブや斑入りの宿根草などを植栽し、ベンチなどを置いた（写真1）。また、夏にはログハウス北側に設置した大型プランターにヨルガオを植え、夏の夜間開園時に花を観賞することができた。

2月には（財）都市緑化技術開発機構よりベンチ付きの立体貯水型プランター「ダンダン」2基の寄



写真2. 立体貯水プランター「ダンダン」

贈を受け、カスケード中段の広場に設置した(植物はゴールドクレストやガザニア、ビンカなどで植栽)。(写真2参照)。

本年は春の気温上昇が遅れ、夏咲きの植物の開花が遅れ、さらに夏の猛暑が続いたので秋咲きの植物の植え付けなど、全体的に植栽作業が遅れた。

植え付けた植物

コンテナや周辺花壇に植え付けた植物は表のとおりである。原則として、チューリップなどの球根植物を除き、蕾付きや開花株、斑入りなどカラフルリーフの品種を植栽した。

経費節減のため花木や宿根草の一部は、開花後掘上げてバックヤードで栽培したものや、他の展示に利用したものを活用し、植栽した。

立体花壇(グローバル)は11月下旬～4月下旬までは中輪パンジー、5月上旬～12月中旬まではベゴニア・センパフローレンスで装飾した。



写真3. ベゴニア温室前花壇のチューリップ

4月中旬にはベゴニア温室前やカスケードの小花壇には前年に球根を植えたチューリップ大輪品種‘エスター’が約4,000輪開花し好評であった(写真3)。

春にはタキイ種苗(株)からペチュニア‘サルサ’‘ドレスアップ’、夏には(株)ミヨシからビンカ‘ト



写真4. ゲート前に展示した種苗会社より提供されたペチュニア

コナツ’の開花株苗の提供を受け、それぞれコンテナやプランターで秋まで植栽・展示した(写真4)。

4月中旬～12月中旬まで、駐車場西側歩道横と駐車場からゲートまでの管理道アプローチにベゴニア・センパフローレンスを植えた60cmプランターを約120個並べて入園者用通路と車道の分離と装飾を行った。また、駐車場からゲートまでのクスノキ植栽の中間点に新しく設けた休憩スペースの約1㎡の花壇にもベゴニア・センパフローレンスやカラーなどを植えた(写真5、6)。



写真5. 管理道に並べたベゴニア・センパフローレンスのプランター



写真6. 新しく作った休憩スペースの花壇

夏～秋まで、ゲート事務所前の小花壇及びプランターにアサガオ‘曜白’、‘アーリーコール’などを植栽・展示し、カスケード水路に面した岩壁にフラ

ワーネットを張ってプランターでルコウソウを植栽・展示した。

維持管理

維持管理状況は昨年とほぼ同様である。

春～夏の時期はおおよそ月 1 回の定期的な薬剤散布を行ったため(一部業者委託)、病虫害の大きな被害は無かった。夏はサルビアにバッタによる食害や、ハイビスカスの新芽や蕾にアブラムシが発生した。また秋にエンジェルストランペットにヨトウムシの食害があった。いずれもオルトラン粒剤で防除した。

レンガブロックや階段敷石の隙間に雑草の繁茂がひどかったので手抜き除草のほか、草刈機による機械刈り(一部業者委託)をした。

夏の猛暑と 12 月の寒波の影響

昨年のような台風の影響はなかったが、夏から秋にかけて晴天と猛暑が続いたので水やりに注意を要した。12 月には例年より早い寒波により積雪が 2 回あり、凍結や枝折れなどで展示植物がかなり傷んだので、一部は撤去した。

鉢展示や夜間開園展示について

昨年に引き続き 1 月から定期的(ほぼ月の第 2、4 木曜日、年度途中から第 1、3 火曜日、)に植物友の会管理ボランティアの協力を得て、季節の草花を組み合わせたハンギングバスケットやプランター寄せ植えを作成し季節ごとに常時 20 ～ 30 個を展示した。

カスケードの流れに、6 月にハナショウブの鉢植えとプランター植えを約 20 個展示し、また池周辺とゲート前の軒下に、8 月にはサギソウ、ミソハギなどの水生植物を使った寄せ植え約 20 個を展示した(写真 7)。



写真 7. ゲート前に展示したサギソウなどの寄せ植え

10 月 20 日から 11 月 6 日までコンテナ及びガーデニングコンテスト作品展をカスケード中段付近で行い、日本ハンギングバスケット協会ハンギングバスケットマスター協力によるハンギングバスケット展をベゴニア温室東側ケヤキ下で開催し、入園者に変好評であった(写真 8)。

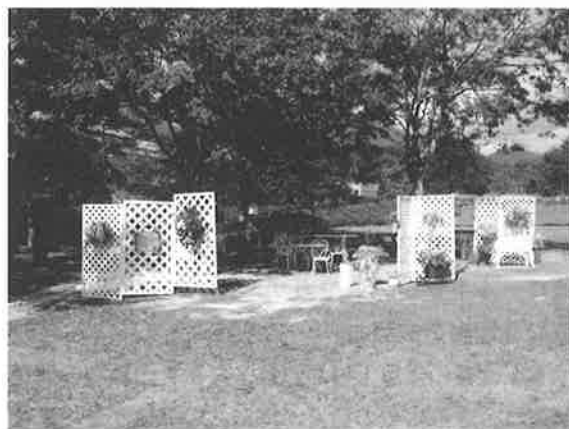


写真 8. ハンギングバスケット展

本年は 8 月下旬～9 月上旬と 12 月上旬土曜日の計 6 日間夜間開園を開催し、カスケードの両側の植え込みや石壁面及びケヤキの樹冠にネットライトやイルミネーションを設置し、階段にキャンドル、ランタンを置き、光の演出を行った。植物のライトアップは、夏はエンジェルストランペット、ハイビスカス、ハンギングバスケット、ベゴニア・センパフローレンスのグローバルなど、12 月はエリカ、エレモフィラ、パンジーのグローバルなどを大型懐中電灯やランタンを使って行った。

今後の課題

ガーデニングの情報提供の場として、積極的な新しい植物の導入とその栽培方法を解説した展示の必要性を感じる。カスケードの水の流れと岩組みを利用した植栽展示や、景観を配慮した休憩用のベンチ等の増設などが必要であろう。

また、夜間開園をこれから継続していくので、夜咲きや夜に香る植物など夜間開園で展示効果のある植物の展示を増やすことや、より展示効果の上がる照明方法も必要である。

参考文献

磯部実、梶川修:平成 15 年度カスケードコンテナ及び周辺植栽花壇について、広島市植物公園栽培記録第 25 号(2003)

磯部実、梶川修、高東朗:平成 16 年度カスケードコンテナ及び周辺植栽花壇について、広島市植物公園栽培記録第 26 号(2004)

表. 平成 17 年にカスケード及び周辺花壇に植栽した植物

冬	12月(平成17年)	1月	2月
	エバクリス・ロンギフロラ エリカ'ファイヤーヒール' エレモフィラ・ニベア ガーデンシクラメン クリサンセマム'ノースポール' サザンクロス'ピンクスター・マドンナ' ジャノメエリカ ストック ネリネ・ウンデュラタ ハボタン ビオラ フユシラズ (チューリップ)	クリスマスローズ シロタエギク (チューリップ) パンジー モクビヤッコウ	アネモネ クリサンセマム'ノースポール' シロタエギク トキワズナ パンジー
春	3月	4月	5月
	オステオスペルマム ガザニア キレハラベンダー ゴールデンクラッカー シュコンフロックス スイートアリッサム チューリップ ○ツツジ・吉野 ネモフィラ パンジー フクロナデシコ ブルーデージー ボロニア マーガレット *マーガレットコスモス ヤゲルマソウ レースラベンダー	アルメリア イングリッシュ・ラベンダー オステオスペルマム ガザニア カラー キンギソウ シュコンネメシア チューリップ デルフィニウム ○ニオイハナマツリ フレンチ・ラベンダー フユシラズ ペゴニア・センパフローレンス ペチュニア'サルサ'ドレスアップ' ヘリクリサム'ペーパーカスケード' ○ミケリア	オキシペタラム オステオスペルマム カモミール キバナマーガレット コウシュンカズラ ○シャクナゲ交配種 ○サラサドウダン ゼラニウム ナデシコ交配種 フロックス'インテンシア' ペチュニア ペゴニア・センパフローレンス ○ボタン マーガレット ムギセンノウ
夏	6月	7月	8月
	アカンツス イソトマ エンジェルストランペット オリズラン コリウス コンボスブルス・クネオルム コンロンカ ダリア・ピンナタ ○ハイドランジア ハイビスカス パキスタキス・ルテア ○ハナショウブ フイリカリガネソウ ペンタス ポーチュラカ マツバボタン マリーゴールド ヤエサンユウカ ルリマツリ	アサガオ'囉白'、'アーリーコール'、'スカーレットオハラ' エンジェルストランペット カンナ'ビューイエロー'、'ビューブラック' ケイトウ コリウス ツンベルギア・エレクタ交配種 デュランタ トレニア ハイビスカス *ハクチョウソウ ハナショウブ ヒマワリ'マンチキン' フイリエンジェルストランペット フクシア ペチュニア ペンタス マツバボタン ランタナ ルコウソウ	ギボウシ類 コダチダリア(未開花株) サギソウ シュウメイギク シラサギガヤツリ ツルソバ トワダアシ デュランタ ネコノヒゲ フイリガマ ベニバナサワギキョウ ヘビウリ ポーチュラカ ミソハギ ヨルガオ
秋	9月	10月	11月
	アキランタス コリウス クジャクアスター サルビア・ファリナケア シッコニアスター シュウメイギク スカビオサ ナデシコ交配種 ハイビスカス・アーノデアヌス ハナカタバミ ハマギク ヒメツルソバ ヘリクリサム・ペチオラタ フジバカマの仲間 ペンタス ヤナギバヒマワリ	アキランタス ウインターコスモス オキザリス・ヒルタ *ギョリュウバイ サザンクロス'ホワイトウインド' *サントリーナ シロタエギク シコンノボタン スカビオサ ダルマギク ハナカタバミ バコバ ヒボエステス フジバカマの仲間 *マーガレットコスモス *ユリオプスデージー	アワユキエリカ エリカ'ウインターファイヤー' エレモフィラ・ニベア サザンクロス'ホワイトウインド' *サルビア'イエローマジスティ' *サルビア・ミクロフィラ *サルビア・レウカンサ ジャノメエリカ ハボタン パンジー ビオラ フユシラズ ヘラボラス'オリエンタリス交配種' ミモザ'ブルブレア' メラルレウカ モクビヤッコウ リナリア (チューリップ)

* は恒常的に植栽したもの

() は球根の植え付け

○ は単鉢による展示